

2020年2月期 第2四半期

## 決算説明資料

2019年10月11日

### 古野電気株式会社

#### 注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

## ◆ 売上：増収

- 舶用事業における日本・アジア地域の商船新造船向け売上が伸長。
- 無線LAN・ハンディーターミナル事業における文教向け無線LANアクセスポイントの販売好調により増収に転じる。

## ◆ 利益：減益

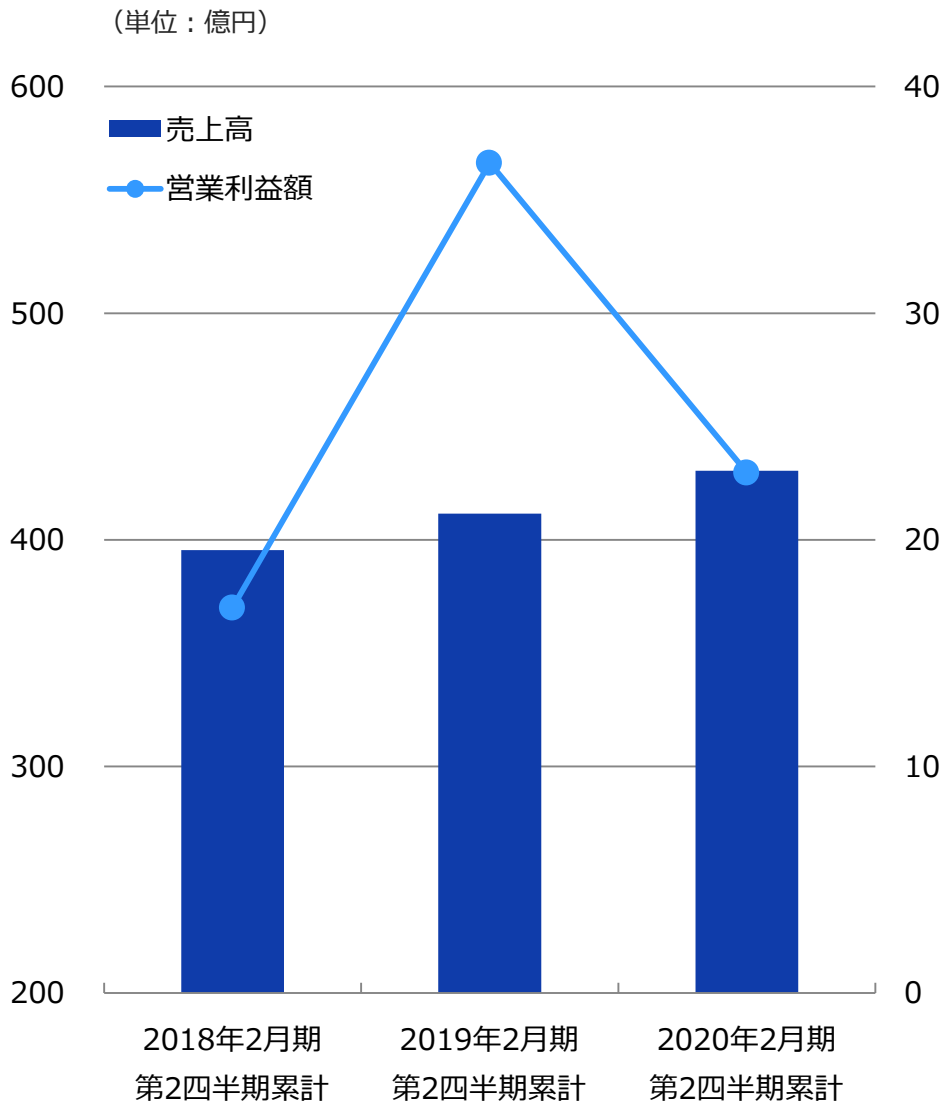
- 前年比で、製品構成の変化、未実現利益消去額増加、為替影響等により売上原価が増加し、利益が減少。

| (単位：百万円)                     | 2019年2月期<br>第2四半期 | 2020年2月期<br>第2四半期 | 増減比（額） | 増減比（率） |
|------------------------------|-------------------|-------------------|--------|--------|
| <b>売上高</b>                   | 41,152            | <b>43,040</b>     | +1,888 | +4.6%  |
| <b>売上総利益</b>                 | 16,893            | <b>15,557</b>     | ▲1,336 | ▲7.9%  |
| (対売上高比率)                     | (41.1%)           | (36.1%)           | (▲4.9) |        |
| <b>営業利益</b>                  | 3,663             | <b>2,296</b>      | ▲1,367 | ▲37.3% |
| (対売上高比率)                     | (8.9%)            | (5.3%)            | (▲3.6) |        |
| <b>経常利益</b>                  | 3,853             | <b>2,430</b>      | ▲1,423 | ▲36.9% |
| (対売上高比率)                     | (9.4%)            | (5.6%)            | (▲3.7) |        |
| <b>親会社株主に帰属<br/>する四半期純利益</b> | 3,283             | <b>2,188</b>      | ▲1,095 | ▲33.4% |
| (対売上高比率)                     | (8.0%)            | (5.1%)            | (▲2.9) |        |
| <b>研究開発費</b>                 | 2,305             | <b>2,234</b>      | ▲71    | ▲3.1%  |
| (対売上高比率)                     | (5.6%)            | (5.2%)            | (▲0.4) |        |
| <b>設備投資額</b>                 | 1,215             | <b>1,028</b>      | ▲187   | ▲15.4% |
| (対売上高比率)                     | (3.0%)            | (2.4%)            | (▲0.6) |        |
| <b>減価償却費</b>                 | 1,513             | <b>1,563</b>      | +50    | +3.3%  |
| (対売上高比率)                     | (3.7%)            | (3.6%)            | (▲0.1) |        |
| (単位：円、期中平均レート)               |                   |                   |        |        |
| <b>為替（対ドル）</b>               | 109               | <b>111</b>        | +2     | +1.4%  |
| <b>為替（対ユーロ）</b>              | 131               | <b>124</b>        | ▲7     | ▲5.2%  |

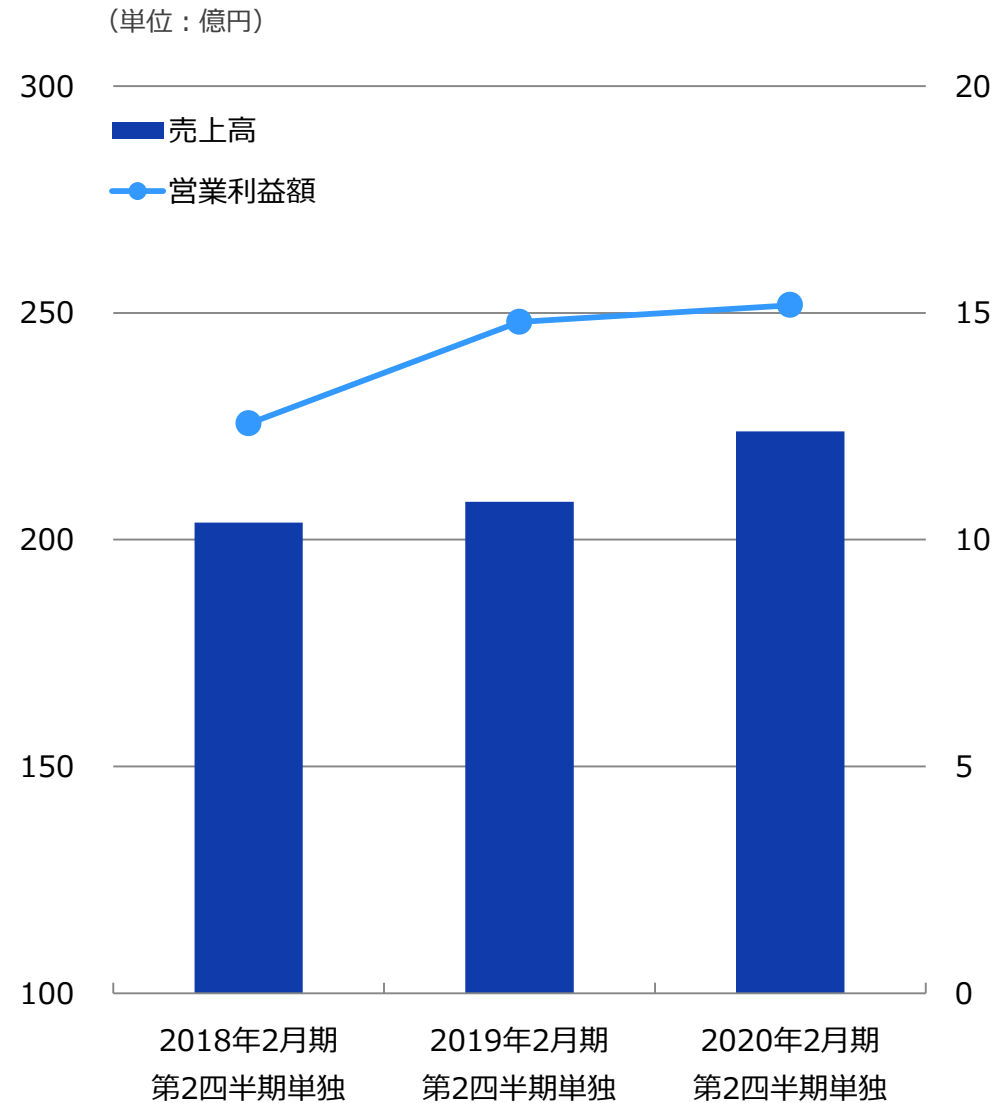
# ご参考 3カ年 第2四半期比較 (累計・単独)

FURUNO

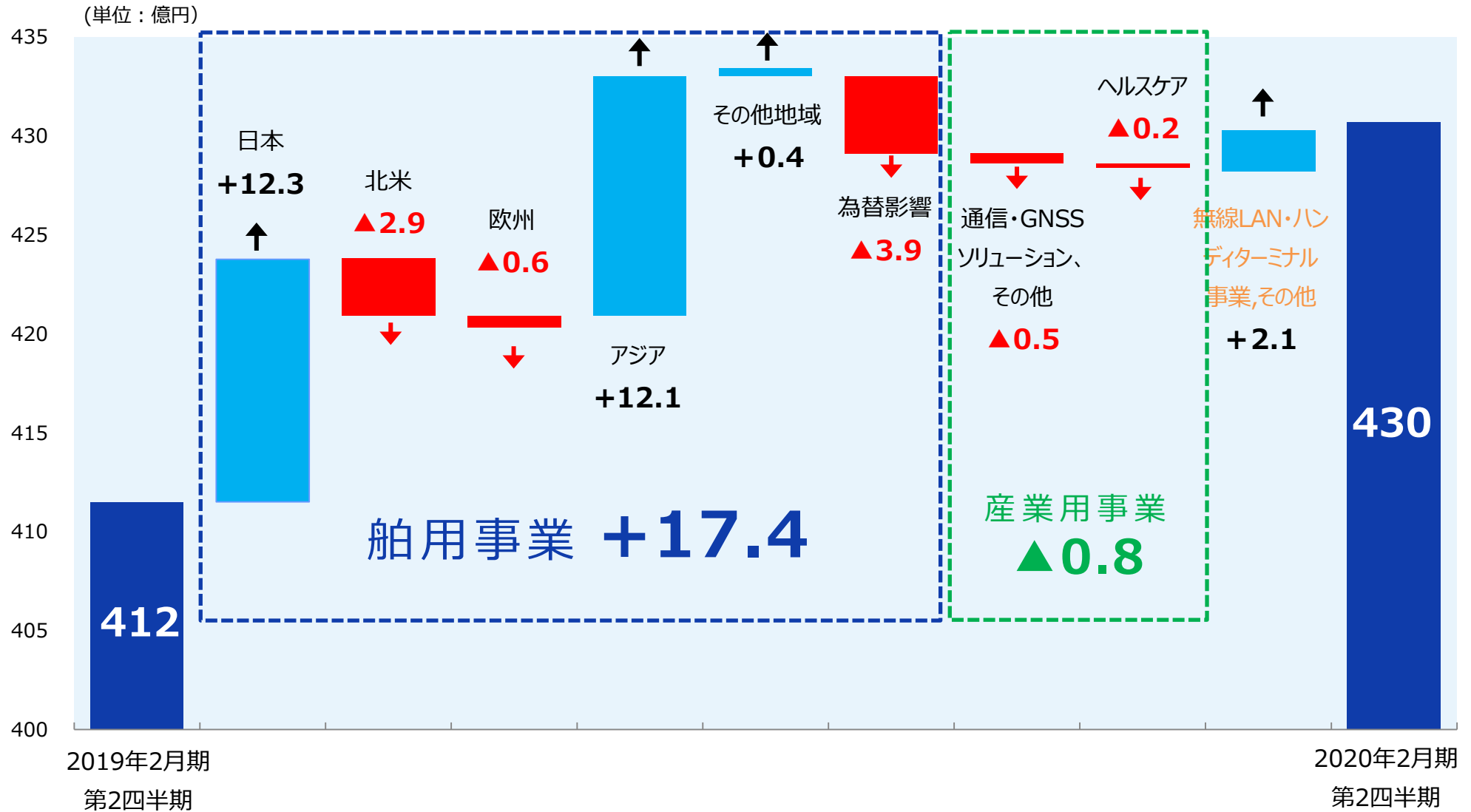
## 累計比較



## 単独比較

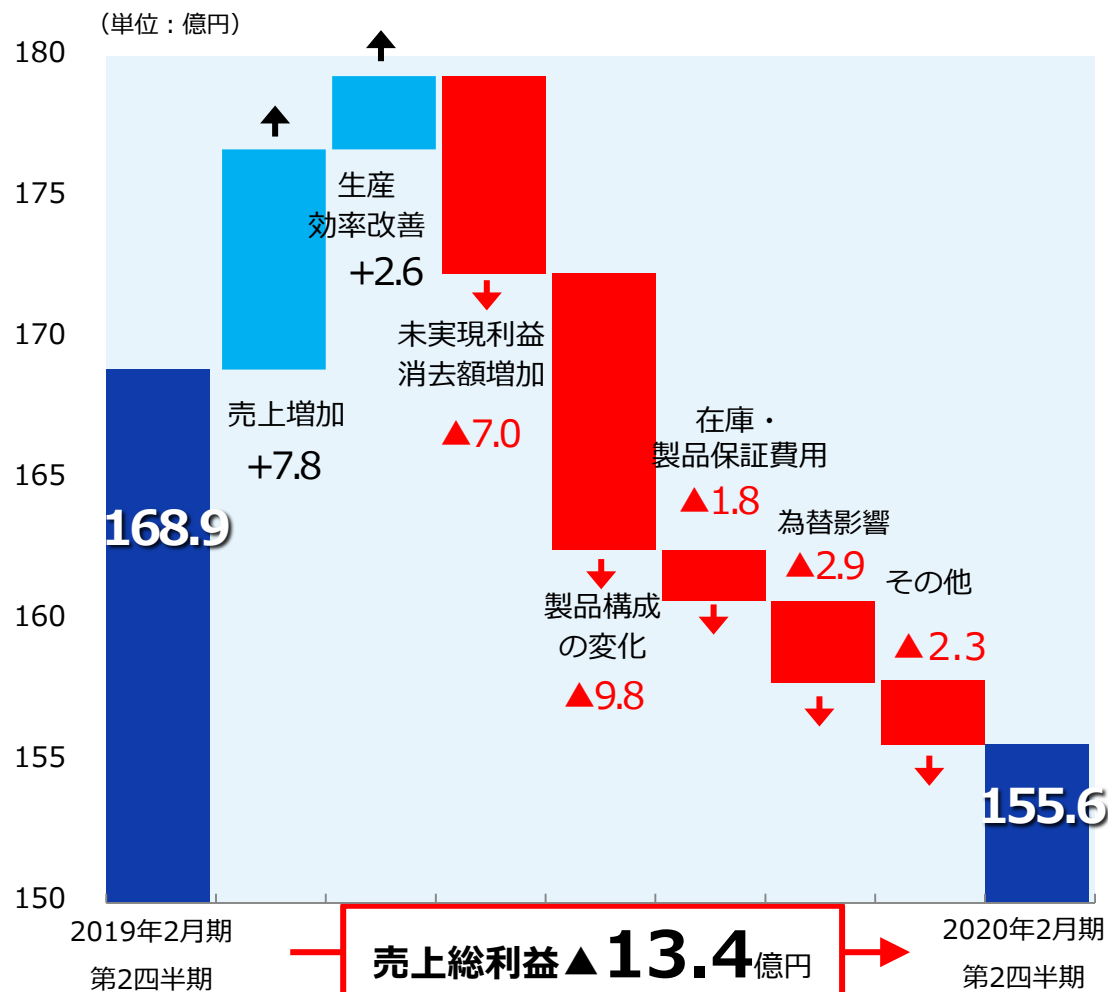


# 売上高の増減分析

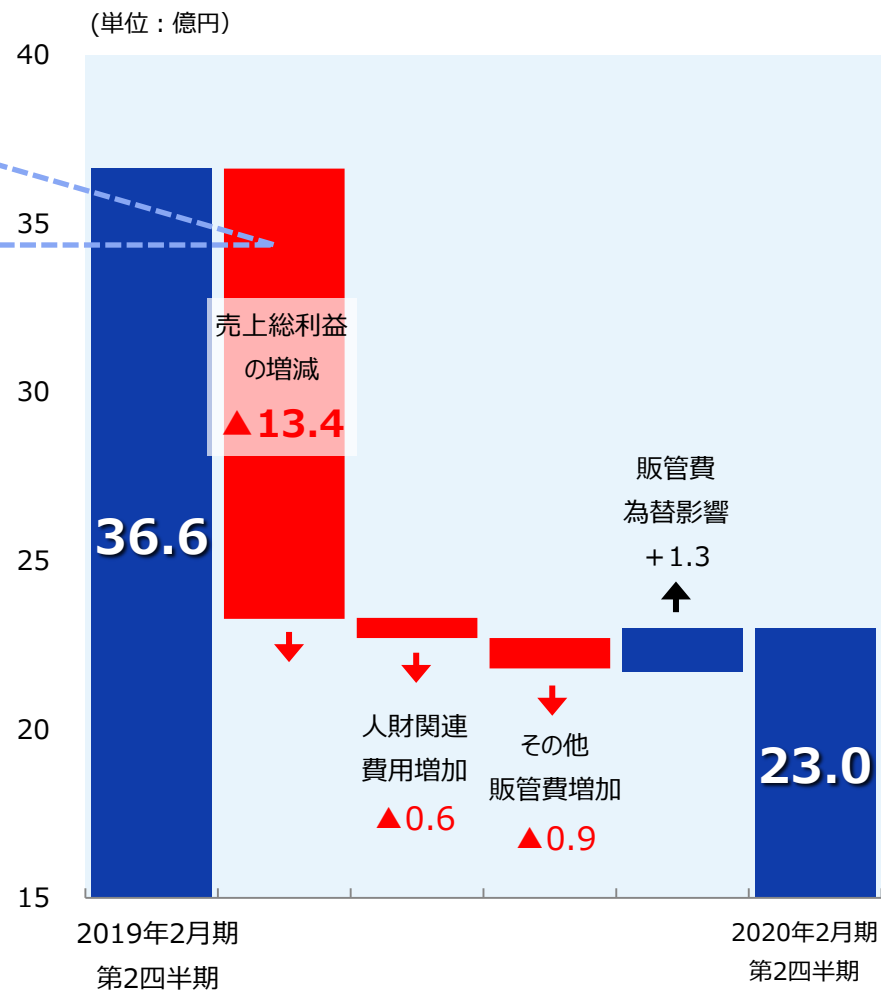


※ 為替感応度 (2019年2月期実績値)  
 【ドル】売上高1.2億円、営業利益0.5億円  
 【ユーロ】売上高1.4億円、営業利益0.6億円

## 売上総利益の増減分析



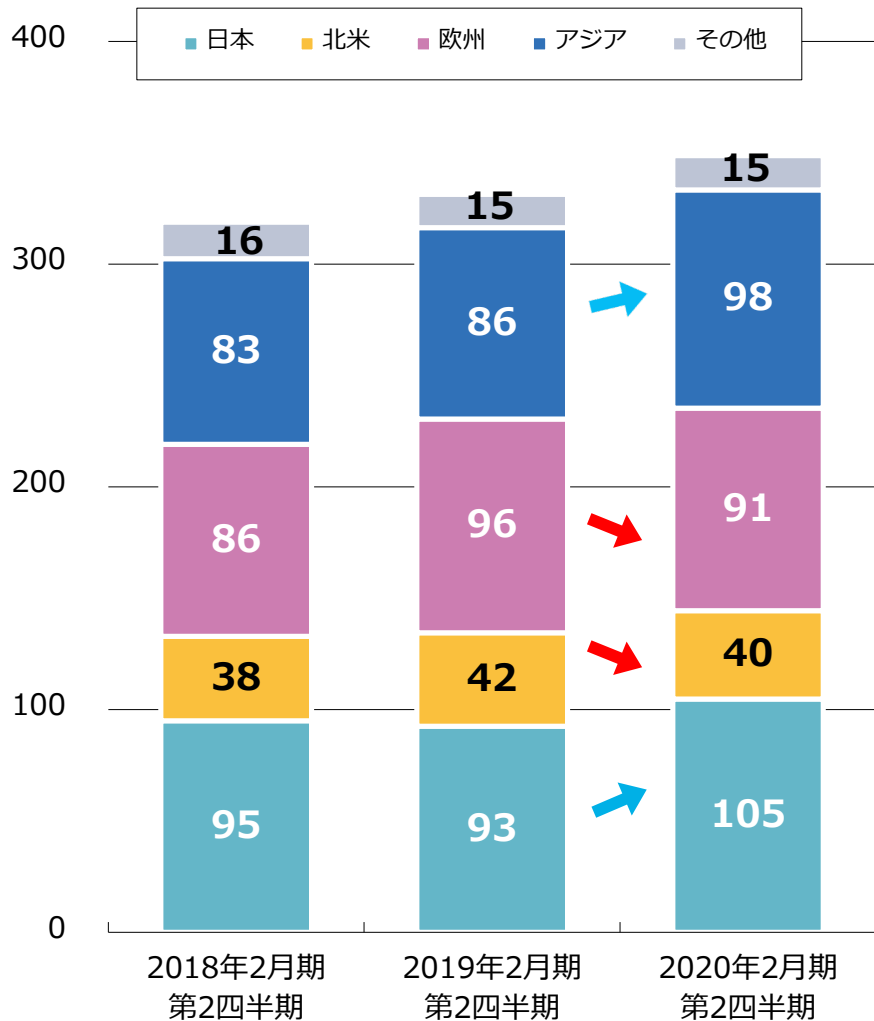
## 営業利益の増減分析



※営業利益に対する為替影響▲1.6億円

## 船用事業・連結売上高 (累計・地域別)

(単位：億円)



## 船用事業：

売上高 **349**億円 (前年同期比 + **5.3%**)

セグメント利益 **15.5**億円 (▲**12.9**億円)

⇒ **日本・アジアで増収**

⇒ **製品構成の変化、未実現利益消去額増加、  
為替影響等により減益**

◆ **日本：売上高 105**億円 (+**13.3%**)

▶ 商船新造船向けが増収

◆ **北米：売上高 40**億円 (▲**5.3%**)

▶ 小型商品が減収

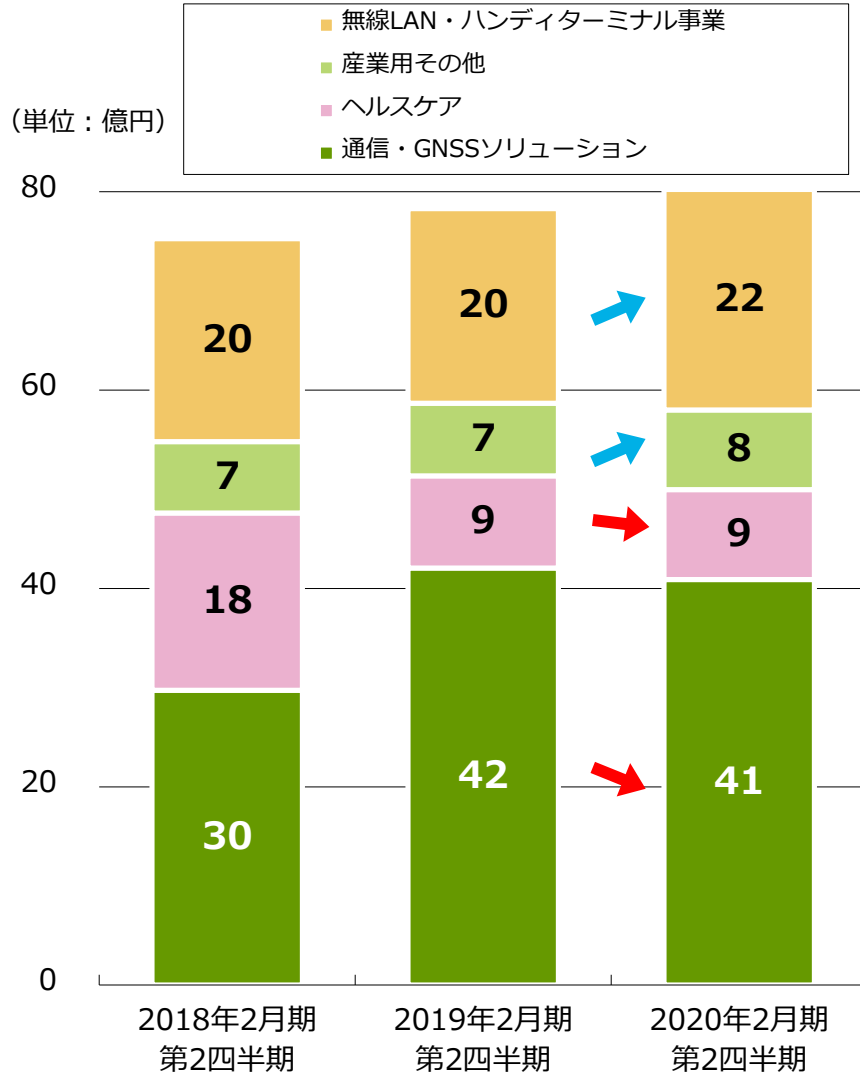
◆ **欧州：売上高 91**億円 (▲**5.5%**)

▶ 為替影響により減収

◆ **アジア：売上高 98**億円 (+**14.3%**)

▶ 商船新造船向けが増収

## 産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業 連結売上高（累計・製品群別）



### 産業用事業：

売上高 **57.9**億円（前年同期比 **▲1.3%**）

セグメント利益 **1.7**億円（**▲2.4**億円）

⇒ **通信・GNSSソリューション事業は  
受託事業の売上微減**

⇒ **ヘルスケア事業は自社機伸びず微減**

⇒ **製品構成変化、在庫関連費用増により減益**

### ◆通信・GNSSソリューション事業：

売上高 **40.9**億円（**▲2.8%**）

### ◆ヘルスケア事業：売上高 **9.1**億円（**▲2.0%**）

### 無線LAN・ハンディターミナル事業：

売上高 **21.7**億円（前年同期比 **+10.7%**）

セグメント利益 **5.3**億円（**+1.3**億円）

⇒ **無線LANアクセスポイントの販売好調につき  
増収増益に転じる**



# トピックス

## 個人投資家向け説明会を実施しました

個人投資家の皆さまに当社へのご理解を深めていただくことを目的に、2019年8月に大阪と東京で開催された個人投資家向けIRセミナーに参加し、代表取締役社長の古野より、事業内容を中心に今後の成長戦略、株主還元などについて説明いたしました。

当社は、今後も多くの投資家の皆さまに、当社事業活動をご理解いただくための機会を設けてまいります。

### <参加内容>

【大阪】第64回 個人投資家向けIRセミナー（大阪開催プログラム）

開催日：2019年8月6日（火）

場 所：大阪銀行協会ビル

主 催：公益財団法人 日本証券アナリスト協会

参加者：約120名

【東京】日経IR・投資家フェア2019

開催日：2019年8月24日（土）

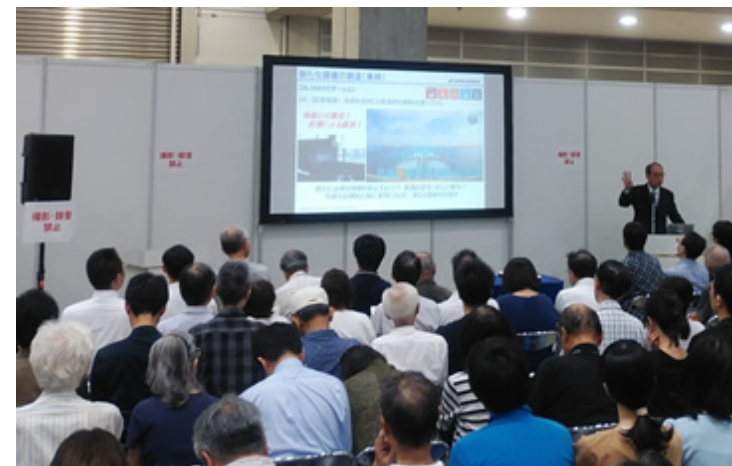
場 所：東京ビッグサイト

主 催：日本経済新聞社

参加者：約130名



▲「第64回 個人投資家向けIRセミナー」での様子



▲「日経IR・投資家フェア2019」での様子

## 伝統を継承し、さらに進化した半周型カラースキャニングソナー「FSV-75」を開発

国内外の漁業に適した「半周型カラースキャニングソナー（型式：FSV-75）」を開発し、2019年8月より販売開始しました。

本ソナーは、半周型ソナー独自の180度扇型探知ビームにより、自船近傍の海面から海底までの探知を得意としています。当社独自の信号処理技術により、探知距離は従来機に比べ1.2倍に拡大。これまでの半周型ソナーでは難しかった左右方向に離れた魚群も逃さずキャッチします。高速送信でカツオ、マグロなど動きの激しい魚の探知にも威力を発揮します。

また、本シリーズでは最も高い180 kHz高周波を採用したことにより、高精細な映像で魚群、海底をくまなく映し出し、中、低周波では難しかった底付き魚群の探知や網なり、網中魚群の把握も可能にしました。

このほか、従来のFSVシリーズで好評頂いている操作機能を踏襲しつつ、半周型ソナーに適した新しい操作部の採用により、魚群の探索追尾に重要な操作を素早く確実に行えるようにしました。



▲ 上：「半周型カラースキャニングソナー（FSV-75）」の表示部、下：操作部

## 新型ETC車載器2製品を発売

新セキュリティ規格に対応した新型ETC※車載器2機種「型式：FNK-M15/FNK-M16」を2019年9月より販売開始しました。

新型のETC車載器「FNK-M15」は、音声/ブザー切替案内タイプになり、「FNK-M16」は音声案内タイプとなります。それぞれ従来機種「FNK-M11T」、「FNK-M09T」の後継機種となります。

両機種とも新セキュリティ規格に対応しており、将来予定されているセキュリティ規格の変更後も安心してお使いいただけます。また、高い信頼と品質に裏付けられたメーカー3年保証を通じて、安心・安全なドライブのひとつをユーザーの皆さまへ提供いたします。

※ ETC（読み：イーティーシー、Electronic Toll Collection System〈自動料金收受システム〉の略）は、有料道路の料金所などに設置されたアンテナと自動車に搭載された端末（車載器）とで通信を行い、自動車を止めずに有料道路の料金支払いなどを処理するシステムです。



▲「型式：FNK-M15」の外観イメージ



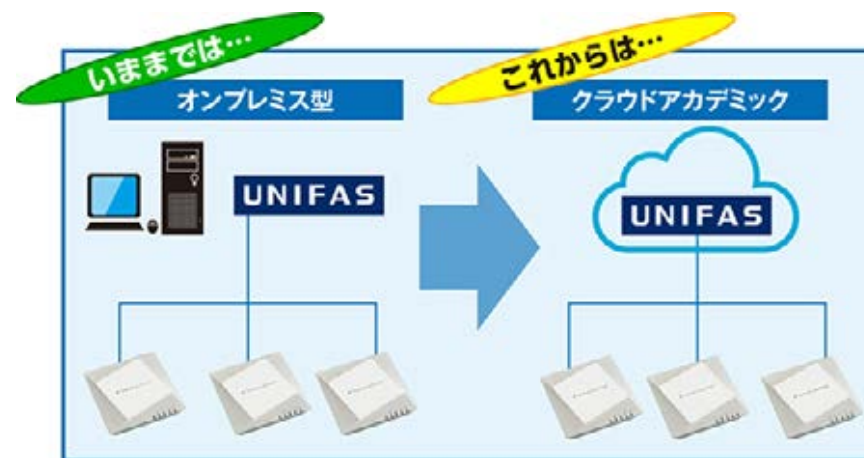
▲「型式：FNK-M16」の外観イメージ

## フルノシステムズ、クラウド管理型無線LANサービスの提供を開始

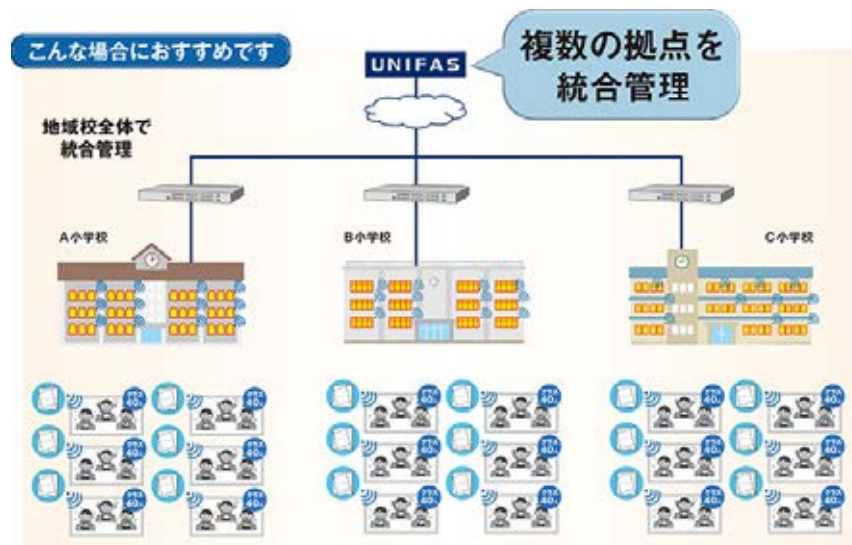
当社子会社である株式会社フルノシステムズは、2019年8月より文教市場向けに、クラウド上で無線LAN管理を実現するクラウド管理型無線LANサービス「UNIFASクラウドアカデミック」の提供を開始しました。

UNIFASクラウドアカデミックは、学校での無線LAN環境構築において、クラウド上にあるフルノシステムズの無線ネットワーク管理システム「UNIFAS（ユニファス）」を活用し、無線LAN管理サーバの準備から、サーバの監視や運営までを一括で担うことができるサービスです。

本サービスはパートナー企業や代理店向けに提供するサービスで、複数の拠点に無線ネットワークを構築する場合、拠点ごとにコントローラを設置する必要がなくなり、導入費や管理・運営面で負担を軽減することができます。パートナー企業や代理店が、ユーザーが利用するWi-Fiの提案・サポート業務に専念できることで、より良いサービスの提供に役立ちます。



▲ クラウド管理型による無線LANサービスの構成イメージ



▲ ICT機器を活用した授業でのサービス利用イメージ

## ビル建設現場向け無線LANシステムを戸田建設と共同開発

当社と戸田建設株式会社は、ビル建設現場において、工事進捗に合わせて無線通信環境を簡単に構築できる無線LANシステム「ウェーブガイドLANシステム™」※を開発しました。

建設業界では、ICT機器の導入などによりデジタル化が進み、大容量データでの通信機会が増えたことから、無線LAN環境へのニーズが高まっています。しかし、建設現場に無線LANを設置する場合、電波遮へい物の影響などにより高さ方向への電波が届きにくくなるため、フロア毎にアクセスポイントの設置や、各階のアクセスポイントをLANケーブルで繋ぐなどの必要があり、それによってLANケーブルの切断リスクや、工事進捗に合わせて配線ルート確保・再設置といった手間、コストが生じていました。

そこで、両社はこれらの課題を解決するために、建設時に足場として使われる単管パイプを活用し、建設現場で堅牢かつ簡単に構築できる無線LANシステムを共同で開発しました。

本システムは、今後トンネル・橋梁などビル建設以外の工事現場への導入実現、また、2020年の商品化に向けて取り組みを進めてまいります。



▲「ウェーブガイドLANシステム™」を活用したビル建設現場イメージ

※「ウェーブガイドLANシステム」は、戸田建設株式会社と古野電気株式会社が商標登録出願中のシステム名称です。  
FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

# 補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2019年2月28日現在



|         |                          |
|---------|--------------------------|
| 社名      | 古野電気株式会社                 |
| 本社所在地   | 兵庫県西宮市                   |
| 設立      | 1951年(昭和26年)             |
| 事業内容    | 船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売 |
| 資本金     | 7,534 百万円                |
| 従業員(連結) | 2,957 名                  |
| 売上高(連結) | 82,108 百万円               |
| 代表者     | 古野 幸男                    |
| 上場取引所   | 東京証券取引所市場第一部             |

I R 情報サイト⇒ <https://www.furuno.co.jp/ir/>

製品情報サイト⇒ <https://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト⇒ <https://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>



## 安全安心・快適、 人と環境に優しい社会・航海の実現

